

台風24号被害甚大

昨年平成三十年は日本国中が大きな自然災害に見舞われ、七月には過去に記録がない程の豪雨が西日本各地を襲い、二百二十人もの方々の尊い命が犠牲となりました。九月には北海道東部を震源とする大地震が発生、崩れた土砂や倒壊した建物の下敷きとなって四十一名の方々が亡くなられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。実は長泉寺でも大きな被害がありました。九月下旬日本列島を襲った台風二十四号は観測記録を塗り替える猛烈な風を伴うものでした。沖縄、九州地方では瞬間風速五十六メートルという強風が吹き荒れ被害は全国に及びました。その大風に長泉寺も直撃されました。

九月三十日夜通し眠れない程の風が吹き荒れた翌十月一日は嘘のように静かな朝。鐘をつくために玄関を出たところ境内の様子が違うのに気付きました。西の空が明るく広く感じました。よく見るとなんと本堂西側の墓地入口にそびえていたあの桜が倒れていたのです。幹まわり三メートルあったでしょうか。高田桜の子と伝えられる江戸彼岸の大木は、境内で一番早く咲き濃く美しい花色で皆様に親しまれていた桜、残念でなりません。巨大な幹は周囲の樹木をなぎ倒して横たわり枝はくしゃくしゃに折れ曲がり、膨大な量の葉が散乱してしまいました。でもお地蔵様は無事でした。その代わりお地蔵様が抱えている赤ちゃんの頭がなくなっていました。枝に叩かれてとれてしまったようです。お地蔵様の門柱や外柵は倒れたり動いてはいましたが壊れてはいません。門柱の上にあつた丸石は風に転がされてなんと六地蔵尊の前にありました。赤ちゃんの頭は倒れた桜の下から見つかりました。



木は、境内で一番早く咲き濃く美しい花色で皆様に親しまれていた桜、残念でなりません。巨大な幹は周囲の樹木をなぎ倒して横たわり枝はくしゃくしゃに折れ曲がり、膨大な量の葉が散乱してしまいました。でもお地蔵様は無事でした。その代わりお地蔵様が抱えている赤ちゃんの頭がなくなっていました。枝に叩かれてとれてしまったようです。お地蔵様の門柱や外柵は倒れたり動いてはいましたが壊れてはいません。門柱の上にあつた丸石は風に転がされてなんと六地蔵尊の前にありました。赤ちゃんの頭は倒れた桜の下から見つかりました。

一番太い枝は墓地通路を選んだように倒れてお檀家の墓石には被害はありませんでした。奇跡のようです。お地蔵様の赤ちゃんも犠牲となつて被害を最小限にとどめてくれたように思えました。新田鹿ノ坂から高田長泉寺への方向は台風の西風の通り道になつたようです。鹿ノ坂地区の杉林にも倒木が見られます。地蔵山（お寺の裏山）の杉もずいぶん倒されました。

功德の施主

お寺は多くの方々の支えによって営まれています。特志寄付は、お檀家、信徒の皆様からのお申し出による真心からのご寄付です。これらの金円は長泉寺の仏具や伽藍の整備に有意義に使わせていただいています。
 ・「生きていてよかった」という何かいいことがあつて
 ・そのとき運良くお金があつて
 ・何かお寺にいいことがしたい
 ・大切な方のご供養として
 自然とこんな気持ちになつた時で結構です。無理のない喜捨をお待ちしています

平成 29 年末～平成 30 年末	石川 深谷幸男様	高張提灯一對	為先祖菩提
	平田 瀬谷千代子様	金一封 (龍巻特大燭台に充当)	為亡夫菩提
	横浜 片寄英男様	金一封 (伽藍整備費として積立)	為先祖菩提
	横浜 相田隆子様	金一封 (伽藍整備費として積立)	為先祖菩提
	石川 矢内正夫様	金 10 万円 (境内墓地樹木植栽に充当)	為先祖菩提
	石川 山中富久様	金 3 万円 軍手沢山	坐禪指導御礼
	石川 大竹三千夫様	金 50 万円 (木製手彫純金箔押極上蓮華一對に充当)	為亡父 50 回忌
	熊谷 金内 正様	金 10 万円 (彩色平安常花・唐金燭台各一基に充当)	為亡父母菩提
	住職 西川一英様	金一封 (両祖様位牌・歴住大和尚位牌全 39 基新調に充当)	古希記念 為報恩供養
	石川 大竹鮎子様	境内地蔵尊前掛帽子	為孟蘭盆供養
	石川 庭野隆子様	参道六地蔵尊前掛帽子	為孟蘭盆供養
	石川 台野宏之様	金 5 万円 (住職法衣に充当)	為亡父・亡叔父菩提
	石川 近内正隆様	金 50 万円 (繪造僧形文殊菩薩像一体 元禄時代機代機復元修理に充当)	為亡妻・亡父母菩提
	石川 諸岡基幸様	金 10 万円 (彩色平安常花・唐金燭台各一基に充当)	為亡父 3 回忌
	石川 緑川キチ様	金一封 (見平師雲水法衣に充当)	為亡夫・亡子菩提
	石川 金内成見様	長泉寺境内墓地詳細図作成 (額付)	
	中田 塩田正幸様	境内百日紅剪定奉仕作業	
	石川 橋本 博様	本堂・茶所床ワックスかけ奉仕作業	
	中田 瀬谷寿一様	瀬谷正幸様 瀬谷喜男様 塩田繁様 矢ノ目田桜周辺草刈奉仕作業	

他に境内・参道・墓地周辺のお掃除や環境の整備に覚來幸啓様・渡邊隆様・西川道子様、また住職・寺族が気づかない多くの方々のご奉仕がございました。心より感謝申し上げます。

長泉寺梅花講便り

一昨年九月から始まつた新長泉寺梅花講は新たに二名が加わり、五名の講員と寺族裕子の六名で練習をしています。四月十五日には花祭と戦没者慰霊法要に参加。六月二十六日には赤羽の東光寺で特派梅花の勉強会があり講員二名と寺族が参加しました。八月の新盆供養では全七名で参列しお唱えいたしました。

また、十月二十六日に磐梯熱海のユラックスで開催された福島県奉詠大会には四名の講員と寺族が参加しました。始めたばかりの方も三十数名の方々に混ざつて舞台上がり、課題の御和讃と御詠歌を立派にお唱えできました。大会前に熱心に楽しく練習した成果です。参加された方々は「とてもよかつたよ、いい経験になりました。来年も是非参加します。」と感想を話され嬉しい限りです。年末には皆さんの希望で八幡屋さんで日帰りの忘年会を楽しみました。

現在は月二回主に水曜日午後一時半から三時頃まで練習とお茶会を行っています。和気あいあいの雰囲気です。ちよつと覗いてみませんか。お待ちしています。

平成三十年度ピカピカの新年生安全祈願



ピカピカの新年生
入学お祝安全祈願

- 参加者七名
- 永林 彪雅くん
 - 水野谷 陸くん
 - 水野谷 拓くん
 - 鈴木 尊くん
 - 澤村 兼信くん
 - 西牧 柊翔くん
 - 三瓶 友菜さん
- おめでとーございませす

境内外宮について

境内に三基の新しい仏堂・外宮が建立されました。ひとつは境内に入り左側、枝垂れ桜の根本にある「大石下稲荷社」です。昔は裏山の頂上にあつた大石の下に祀られていたと言われ、長泉寺の鎮守様として京都伏見稲荷を勧請したものであります。



▼大石下稲荷



▼納経堂



▼うすさま明王堂

と云い伝えられています。戦時中裏山では松根油やジルコンを採掘しましたが、その時に大石を破壊した際稲荷社も境内に遷されたとのことです。以来幾星霜風雪に耐え現在に至りますが破損がひどくなり今回新調しました。檜の流れ屋根造りの立派なお社は、南町旭稲荷の隣に住んでおられたお檀家の矢内季吉さんが寄付してくださりました。

二つ目は墓地入口左側に建てられた「六角堂」です。屋根張六尺、総高七尺檜造、銅板葺、二重垂木の堂々としたものです。このお堂は写経をお納めする納経堂で、中にはお釈迦様が祀られ納経用の桐箆筒が入っています。お新盆の各家から頂戴する新盆祠堂金で建立しました。ご先祖の御供養に、心願成就、家内安全の御祈願にぜひ皆様の写経をお納めいただきたく思います。写経用紙はお寺に用意してあります。

三つ目は本堂裏庭、枯山水の上部に設けられた「うすさま明王堂」です。うすさま明王とは元々ヒンズー教の火神であらゆる穢れを焼き尽くし清める力があるとされます。長泉寺の明王堂は以前は境内の外便所に祀つてありましたが、新会館に外便所を併設したため庫裏檀信徒便所の改築に合わせ裏庭の一角に遷しました。明王堂内には萬延元年と書かれた棟札も見つかりました。

國井伸行水彩画展
秋彼岸の二日間、石川生まれの國井伸行さんの水彩画展が長泉寺会館で開催され、お彼岸の墓参の方々が足を止めていました。國井さんは現在須賀川市立第二小学校に勤務、県展に何度も入選し将来を嘱望される新進気鋭の地元作家です。独特の透明感のあるタッチでふるさと石川の山河大地を彩り美しく描いていました。